

NTTドコモと東京大学の 共同研究について

東京大学大学院情報学環 准教授
山内 祐平



反転学習社会連携講座(FLIT)

- FLIT: Department of Flipped Learning Technologies
- NTTドコモとの共同研究(3年)
- 本講座のねらい
 1. 反転学習に関連する学術的な理論の整理
 2. MOOCと連動した反転学習モデルの開発
 3. 大学の授業における反転学習の効果検証
- 講座ホームページ <http://flit.iii.u-tokyo.ac.jp>

東京大学のCourseraコース

2013年秋から宇宙物理学と国際政治の2コースを順次開講

- 宇宙物理学(村山斉 教授)(すでに終了)
 - 講座名:ビッグバンからダークエネルギーまで
 - 世界145カ国から48393人が履修登録
 - 9歳から92歳までの多様な学習者層
 - 3756人に修了証を発行
- 国際政治学(藤原帰一 教授)(現在開講中)
 - 講座名:戦争と平和の条件

JMOOC 推薦教員リスト

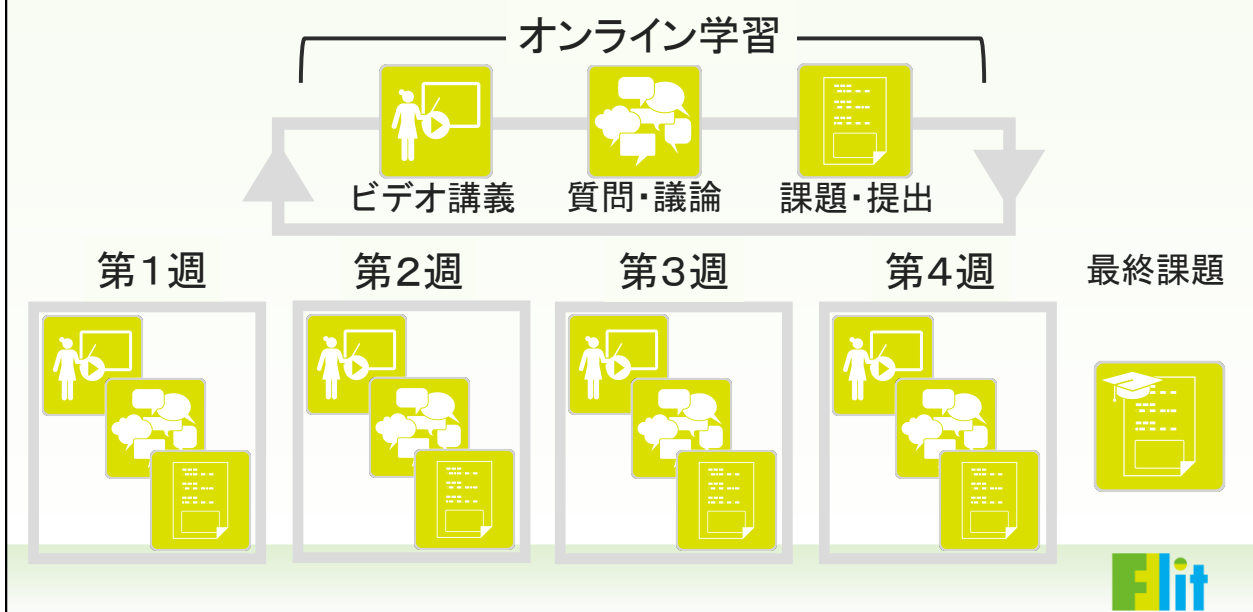
大学名	講師名	専門領域
大阪大学	狩野裕教授	統計学・データ分析
九州大学	井上仁准教授	コンピュータサイエンス
京都大学	(選定中)	
慶應義塾大学	村井純教授	インターネット
国際教養大学	ダレン・J・アシュモア准教授	日本研究
東京大学	本郷和人教授	歴史学
広島大学	安武公一 講師	経済・金融
文化学園	複数の教員による	文化と服飾の歴史
放送大学	山田恒夫教授+ (国際交流基金)	教育・社会系心理学
北海道大学	重田勝介准教授	教育工学
明治大学	森川嘉一郎准教授	サブカルチャー論
立命館大学	矢野桂司教授	GIS を用いた都市システム
早稲田大学	田中愛治教授	政治学

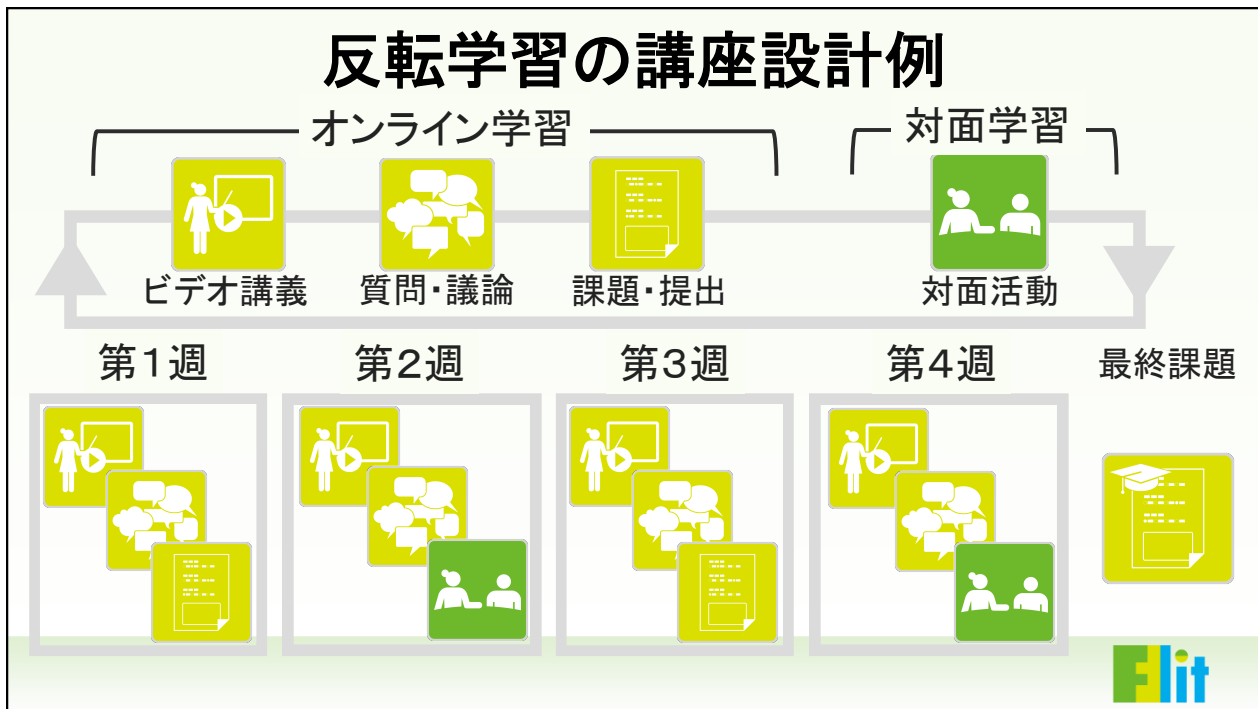
反転学習とは

- 反転学習: Flipped Classroom/Flipped Learning
 - 説明型の授業をオンライン教材化して宿題にし、従来宿題であった応用課題を対面で行う学習形態
- MOOC(大規模公開オンライン講座)単独での学習との違い
 - 教師-学生、学生-学生間インタラクションの増加
 - 教師による柔軟な学習支援
 - プロジェクト・探求型学習や協調型学習活動



MOOCのみの講座設計例





講座名：日本中世史における自由と平等

- 概要
 - － ヘーゲルの所有の概念を用いて日本中世史における自由と平等を再考する
- ねらい
 - － 暗記偏重型に陥りがちな歴史ではなく、歴史学で本来必要な探求と思考のプロセスを体験してもらう
- 講師
 - － 本郷 和人(東京大学 史料編纂所 教授)

講座の流れ (前半)

- オンライン学習 第1週「歴史学とは何か」
 - ビデオ講義: 歴史学における史料に基づいた実証
 - レポート課題→学生による相互評価
- オンライン学習 第2週「歴史のべき・ある論」
 - ビデオ講義: 歴史説明のべき・ある論
- 対面学習 第1回「薪・大隅庄の争論をめぐって」(90分)
 - 小グループで歴史事例を読み、べき・ある論のそれぞれの視点で分析を行う
 - べき・ある論の2グループに別れ、討論型の議論活動を行う



講座の流れ (後半)

- オンライン学習 第3週「日本中世史における自由」
 - ビデオ講義: 日本中世史における自由の概念と変化
 - レポート課題→学生による相互評価
- オンライン学習 第4週「日本中世史における平等」
 - ビデオ講義: 国家権力のツリー構造と一向宗に見るリゾーム構造
- 対面学習 第2回「天下統一の必然性」(90分)
 - 小グループで事例を読み、戦国時代における天下統一の要因について仮説を立てる
 - グループ間で発表し、他グループと批判的議論を行う

